

中斎塾 東京フォーラム  
平成 29 年度 第 6 回塾長講話

平成 29 年 7 月 8 日  
於 湯島聖堂

おはようございます。今日の出だしは御二人（猪瀬理事長・比田井副理事）とも、ようございました。久しぶりに心の留め金がカチンと外れるということ思い出しました。

たまたま昨日は、大野参与と共に木内顧問の会社に参りました。そこに株式会社ベストセラーズの編集長と前社長が来ていまして、その編集長は氣鋭の編集長というイメージでしたが、「団塊ジュニアです」と言っていて、すごい年齢の差があるのだなと感じました。その方が私達に対して「何故その歳でそんなにエネルギーが溢れているのか。どうしてそんなに行動力が生まれているのか。その原動力はなんですか」と、一所懸命に質問をしてきました。

大野さんは毎週出張をして、毎月中国に行っています。私は別にあちこち行っているとは言いませんでしたが、会話で察したのでしょうか。それに対する返事は今、猪瀬さんが言われたことそっくり同じです。表現方法は違いますが、編集長は団塊のジュニアですから「なぜ行動するエネルギーが湧くのか」に対して、私が答えたのはとても簡単なことです。利によりて行えば怨み多しという言葉がありますけれど、自分だけ儲けよう。自分だけ利益を得よう。自分だけ儲ければ良いと考える人は、エネルギーは確かに生まれるが、小さい。

だいたい人間は健康でありたい。お金が欲しい。人から賞賛されたい。色々な欲望が渦まいているものです。それは自分のためにと思っているとエネルギーは生まれるが、そんなにたいしたエネルギーは生まれません。自分一人が満足して家族がちょっと満足するのかな、それぐらいで終わる。だけれども株式会社ベストセラーズが世のため人のためになる動機で会社を始めて、今出している出版物も世のため人のためになる物を出す。自分のための利益を図るのではなく、世の中のために尽くしたい。人のために尽くしたいと本当に心の底から思い仕事をすれば無尽蔵にエネルギーは湧くものです。一点の曇りもなく、世のため人のためにと思えばエネルギーは無尽蔵だと私は思っています。

そういう言葉を知らない頃に、心の留め金がカチンと外れるという体験を私はしたので自分なりの文章でまとめて猪瀬さんに手紙として出した。先ほどの手紙です。人間とは面白いもので、自分が体験したものは、その後の自分の動きを決めていると感じます。

比田井さんの論語の読み方は、完全に比田井流が出来ています。それに「一言」という内容は良い。解説を後々するのはあまり嬉しくはないが「先にこう読んでいます」という

話をするのは比田井さんには良いと思いました。「鄙なるかな」何だあいつは卑しいじゃないか。侮蔑の言葉です。侮蔑の言葉で言われていることをそのまま素直にお弟子さん達が書き残しているというものも、とても良いことだと思います。ですから今日は比田井流の良さというものを感じましたので、このスタイルが完成系に向かって行くことをとても楽しみにさせていただきます。

今日はひとつ実験をしてみようと思っています。学びには縦軸と横軸があると前から申し上げています。私が約10年間おこなっているものは横軸の話です。知識を増やしましょうという話です。知識を増やすためには色々な方法がある。実際こういう知識がありますと御紹介をしました。

最近、北関東フォーラムの今井さん・岡本さん・理事長と私で、食事をするようになりましたが、その中で「そろそろ掘り下げたらいかがですか」という話がありました。横に広がる話ではなく、掘り下げていくと、どういう話が聞けるか楽しみだとありまして、よし第二段階に入ろうと思いました。いままで中斎塾フォーラムで話していたものは第一階段だと自分なりに区切りました。今日以降は第二段階のレベルの話に入ろうと思います。レジュメはレジュメどおりに、いつも通りにいたします。そして掘り下げる話をしようと思っています。

いつもの質問はしますが、今回のテーマ「心の掃除」に直結していきます。心の掃除の掘り下げがたの方法と、なぜ必要なのかということをも第二段階のスタートとして申し上げたいと考えています。

## 恒例の質問

・今年に入って、比較的嘘はつかなかったなと思われる方？テレビを見ていて、または相対して話をしていると嘘を人様がつけているぞと思うことが度々ある場合。または大勢の中の人の話を聞いている。そういう中で、あの人は嘘をつけているなど実感したことが今年に入って何回かある方？

皆さん嘘を見抜くことができますね。皆さん嘘をつくことは出来るから、自分も嘘をつけていると周りもすぐ分かる。

中斎塾フォーラムは「何をしている会か」と聞かれたら、人様に説明できるものは、どうすれば嘘をつかない人生を過ごせるか。嘘をつかない・約束を守る・世のため人のために尽くすことを本気で取り組み、そういう人生を歩むことを自分の人生で最高のものになると思って学びを続けているグループという言い方を私はし始めました。考えてみたら、そんなグループはまずないです。大体どうやれば儲けられるかという話ばかりですから、

たぶん儲けるという言葉でいけば、最終的には人様を幸せにし、自分を幸せにする。いくらお金を儲けても幸せにはなりません。自分が幸せになる。まわりの者も幸せになるという方法を追求して実践していくグループであると感じています。出だしは、嘘はつかないから入るのが良いと思います。嘘をつかない。自分が嘘をつくとも周りも見えて分かります。

・今年に入って良い日が続いている方？

心の持ち方ひとつです。

・有難うと言ひ、有難うと言われることが今年が多い方？その次に、心のこもった有難うと言われることが多い方？これが難しかったら、心のこもった挨拶をされる。

心のこもったことでいきますと、人から誰々さんを紹介してくださいと頼まれた時、**上・中・下**の紹介の仕方があります。

**上**の紹介は、相手先に連絡を取り、こういう人を紹介したいと話をして自分も一緒に相手先に行く。自分も共に行き、相手に紹介するのが上。

**中**の紹介は、自分には行かないけれども、相手に「この人を行かせたいと思うのですが、時間はいかがですか」と、相手の承諾をとり手紙を持たせて紹介するのが中。確実に会ってもらってから。会った時に行った人の中身が伝わらなければ、がっかりするということがあります。

**下**の紹介は、「私の名前を出して良いから行って御覧なさい」と言って行かせる。今までそういう流れで人様のところに尋ねた時は、だいたい紹介した人の悪口を聞きます。不思議なもので「私の名前を出して良いから行って御覧なさい」と言われて尋ねて名前を出すと「まったく、あの人には酷い目に遭わせられたんだよ」と言われます。本人が行けばあまり言わないでしょうけれどね。ということで人が人を紹介する時に、一緒に行って人に紹介するのが上です。

心のこもった挨拶とは、人が人を紹介する時にも、心のこもった紹介の仕方があるだろうと思います。自分が一緒に時間を割いて行くものだと、それが心を込めてというものに繋がるということです。

・今年に入って健康法をし続けている人？

おととい矢野先生の事務所に伺いました。その中で矢野先生が「若返りましたね」とおしゃってくれました。私1年間自転車に乗り続けましたから、実感でいきますと70年の人生の中で昨年は脚を良く鍛えたと感じます。学生時代を通じて一番鍛えられている脚だという実感をもっています。2~30代の時は無作為にやっていたから、良い時もあつたし悪い時もあつた。学生時代には両足ねんざということもありました。若さにまかせて色々なことをしましたから、右足捻挫をして「これぐらい大丈夫だ」と言って動き回っていたら、

反対の足も捻挫をして大変な目に遭いました。

脚の弾力はまるで違います。それが体全体、顔の表情に出てくるのでしょうか。69歳の誕生日に自転車を乗り始めたことを、矢野先生曰く「正解でしたね。それは正しいですね」と、持ち上げていただきました。自分でも褒めてもらいたいと思うものを褒めてもらうと嬉しいですね。これはお互い様で自分が褒めてもらいたいものを、本当に褒めるべき内容であれば見つけて、褒めてあげればお互いの友愛のもとになる。お互い良い関係になると思います。

・今年自分磨きをしていると思われた方？

自分磨きの解説をします。原点は、安岡正篤先生が「なぜ学ぶのですか」と聞かれた時の答えです。『郷学』という季刊誌が25年間続いています、今回100号を迎えました。この中に書いてあります。

学ぶ理由は二つあります。自分を磨いて、自分のレベルを向上させ、人間力を向上させる。それは人間学の所以だと。もうひとつは一隅を照らすこと。まわりの人達に対して学ぶことの大切さを知らしめていく。教育していく感化させていく。言葉だと一燈照隅といえます。そういうところから自分磨きという言葉は出ています。

・昨晚、明日以降のことをイメージして眠れた方。こういうことが出来て良かったなと思えて眠れた方？

過去形でイメージするのがポイントと前から話していますが、それは何故かと申し上げますと、中村天風先生のもの考え方です。明日を過去形でイメージをするというのは、今回のテーマ「心の掃除」と直結をしています。

明日を過去形でイメージしようの原点は、中村天風先生のもの考え方から取っています。

### <恒例の質問の背景>

健康法の実践については、一番身近なところは心身統一合気道です。具体的に色々と教えてもらったのは友人の石崎さん。合気道のお師匠さんです。心身統一合気道は彼から教わりました。その後は自分流にだいぶ変えています、根っこの基礎になるものは心身統一合気道です。そこを根っこにしながら、自分なりの健康法を考えだして現在に至っています。京都大学の名誉教授がカキクケコを提唱しました。その中の自転車を毎日乗るという部分がとても気に入って今の健康法に繋げています。

健康法の根っこにある部分は心身統一合気道であり、石崎先生であったということです。

有難うについては、家庭の中の躰けだと思っています。母親の躰けだったように私は感じています。

嘘をつかない、良い日が続くは、どこから出てくるのかなと考えたら、誰とは特定できないけれども、中村天風先生・安岡正篤先生・石川梅次郎先生と、学生時代に学問を教えていただいた先生方です。それから本で学んだ先生方です。私淑したものを自分なりに消化して出てきたものが、嘘をつかない、良い日に繋がる。でも私が会社を40数年前につくって、日々の会社経営の中から生まれて出てきた言葉だと自分では思っています。

横の知識がいっぱいが増えていったものを自分の体験と繋げていたら、ある日突然融合して自分なりの言葉として生まれたと思っています。

ということで、いつも質問されているものの背景を申し上げました。

## 基本哲学 <知足>

木内顧問のところへお邪魔をすると、「知足利他」という大きな字が書かれて額に入っています。木内さんは父親が使っていたテーブルに思い入れがあって、土光俊夫さんと父信胤が相談をしたり打ち合わせをしたりする時に使ったテーブル。捨てるには忍びないから自分が使っている。父親と一緒に居るという実感をもっているんだなと思っています。私は木内孝さんのところへ行くと信胤先生を思い出すので、何かにつけて伺います。行くとホッとします。ホッとする心の動きは大事なことだと思っています。

「足るを知る」はホッとする。安心するでも良いです。小さな赤子になったような気分で、母親のところまで抱かれている気分でホッとする。それが「足るを知る」ということだと私は思っています。

言葉で表すと嘘をつかない人生。約束は破らない。約束を守ろうと努力してきた。世のため人のために尽くしている。そういう実感があるとホッとする。自己のためだけにやっている、なかなかホッとはいかない気がします。

## 論語の視点 <憲問十四>

【四一】子路 石門に宿る。晨門曰く、奚く自りすると。子路曰く、孔子自りすと。曰く、是れ其の不可なることを知りて、之を為す者かと。

石門は地名です。魯の近郊から遠郊にうつる境目にある門の地名。孔子の一行が旅をしていて宿を取った。その門番は話からすると賢い人。賢人が世を捨てて門番をしているのだろうということです。

その門番が子路に対して「どこから来られたのかね」と。子路は「孔先生のところですよ」

と答えた。門番が「あの有名な孔子のお弟子さんかい。(有名な理由は)今の世の中とても乱れきっていて正しい道が行われない。道徳的にも荒みきってどうにもならないこの世の中で道徳を声高に主張して、世の中に受け入れられないと知りながら、自分をあちこちの国に売り込んでいる、あのエセ学者の孔さんだね」といった。ここは書いていないですが子路は帰って孔子に報告をしています。孔子は「そうかい、そうかい」と軽く流している。次の文章も軽く流しています。

【四二】子 磬を衛に撃つ。責を荷いて孔子の門を過ぐる者有り。曰く、心有るかな、磬を撃つことやと。既にして曰く、鄙なるかな、硜硜乎たり。己を知ること莫くんば、斯れ已まんのみ。深ければ則ち厲し、浅ければ則ち掲すと。子曰く、果なるかな、之を難しとすること未しと。

孔子が衛という国にいる時、石で出来ている打楽器を鳴らしていた。音が外に響くのでしょう。土が入っているもっこを肩に担いでくる人間が、孔家の門前を通った時に「これはなにか物欲しげな音だね。この磬の打ち方は、ちょっとおかしい。何か下心があるような音だな」と声高に聞こえるように言ったと私は感じます。しばらくして言い出したのは「どう聞いてみても、この音は卑しい。がちがちに凝り固まっている。(その人からみると)この音楽は自己主張が強く心根は卑しい。あちこちに自分を売り込みに行って、自分が理解されない状況なら、やめれば良いのに、いつまでも未練たらしく自分を売り込みなさんな。(なおかつ詩経の詩句で)川を渡るときに深ければ衣を脱いで渡りなさい。裸で川に入りなさい。浅ければ衣をたくし上げて渡りなさい」そういう言葉を言って立ち去った。孔子はそれを聞いて「ああいう人は氣楽でいいね」と。「果なるかな」は果断です。思いっきりよく、世の中を見限ってしまった。この世の中で受け入れられないと自分を見限ってしまって、もっこを担ぐ仕事をしている。自分の理想から離れて現実逃避をすることは難しくはない。私は世の中が酷くなったからといって、自分もその状況にあわせて貶めることはしない。見限るようなことはしない。

小さい努力でも、世の中のためになることをするという話です。

## 時事評論

今風にいうと、面白いことに矢野弾先生と話していてもメディア論でした。なぜメディアは劣化しているのか、どうすれば日本の国民は正しい情報、正確な事実が捉えられるようになるのか。

矢野弾先生が一番力説していたことが、なぜ日本政府は外国に対して物を申さないのか。

慰安婦問題が一番分かりやすいのですが、朝日新聞は慰安婦問題で嘘であることを認めたのに、なぜ日本政府は外国に対して発信しないのだろう。政府の広報で発表し、言い続けていけば自然と慰安婦問題は事実無根で捏造であるということが分かっていくのに、その努力を日本政府は怠っている。だんだん政府の攻撃にも入っていきましたが、間違いは間違いだと認めれば良い。今のメディアは商業主義、拝金主義に陥っているから困ったね。何とかメディアは、もともとの生まれたところまでもっていかないといけないと力説をしていました。

木内孝さんのところで会ったベストセラーズの編集長・前社長も、メディア論で話をしていくと明快にメディアは劣化しましたと言います。受け手も劣化した。そこから出てくるものがフェイクニュース。

面白かったのは、トランプさんが大統領になった時のフェイクニュース。グーグルの中で出ているものをベストセラーズの編集長がインタビューしたものを持ってきてくれました。これを見ると、バルカン半島の小さな国マケドニアにフェイクニュースを発信した拠点があった。19歳で失業中のニコラさんが友人から持ちかけられて、人が喜んで見るようなニュースを自分の頭の中で捏造して流せば、見たい人はどんどん見る。こういう話をアメリカ国民は見たいだろう・読みたいだろう・聞きたいだろうと一所懸命に考えて、でっち上げて流した。毎日10本程度のニュースを捏造して流した。悪口の中でいくと、トランプさんのためではなく、お金のためにニュースを作った。善悪は関係ない。お金をくれるグーグルはニセニュースを喜んで読むのはアメリカ人なので、アメリカ人が喜んで読むような面白おかしい話をどんどん作って流した。作って流していく中でトランプさんに有利なフェイクニュースが多かった。ヒラリーさんが有利なものは若干だったようです。仕組みとしてグーグルのアクセス数が増えれば増えるほど自分の関係している広告を見る人が増えるからお金をくれる。その動機は稼ぎたいがためにフェイクニュースを流したと説明をしてくれました。

今日の論語で卑しいと孔子が誹謗されましたが、それを拡散する手法があれば、瞬く間に広がっていったでしょう。この頃も有名税というものがあるから広がっていく。

いずれにしても新聞は半分嘘だと思ってみると良いですねと言いました。民社党が今は民進党ですか、政権を立てている時には、民社党が打つ無様な手を見てください。国債がどうなっているかを良く見てくださいという言い方をしていました。今はヒントが新聞に載っている。ヒントが出ていると思ってみてくださいという言い方に切り替えていると話していたら、ベストセラーズの人達も「私共もメディアの一員ですから非常に情けない」と話していました。

新聞を眺めて本当にヒントがあるねという見方しかしていません。野党がなんだとか都議選についてとか、トランプさんとか色々書いてあるけれど、書き手の思惑が透けて見え

る新聞になっていると思うから、我々は新聞に書いてあるもの、テレビで言っているものが本当かどうか自分の判断基準で判断して、自分の行動を決めていかなければならないと、今つくづく感じています。

### 【学びの段階】

今までは、横の知識を広げていくと良いと話してきましたが、どうやって我々は学ぶか。

**第一段階**は、知識を増やす。特に横軸の知識を増やす。その次には自分の体験が必要です。本を読んだり人の話を聞いて知識を増やし、そこから動きたくなって動く。動いた結果、体験が深まって知識が深まっていくのが第一段階のレベルです。

**第二段階**に入ると知行合一。知ることと行うことは切っても切れないものと自覚する段階です。そうなりますと自分の判断基準が確立します。判断基準の確立は、知識・見識・胆識が我が物となること。第二段階は判断基準がきっちり出来上がる。

**第三段階**は、我なぜ生きるか。使命を悟る段階に入ると私は思います。私はなぜ生まれたのだろうか。何故この世に生きているのだろうか。何をしにこの世に生まれてきたのだろうか、みな哲学の原点はここです。これに対する解決、答え、回答がはっきり出てきたのが第三段階のレベル。

**第四段階**で分かりやすいものは、中村天風先生が書かれている十牛之図で解説している部分です。悟った人間はこういうふうになると。次回は十牛之図の説明をしますが、周りの人が感化される。本人は気がつがなくても周りの人が感化される。感化力が身につについてくる。

具体的なことをいえば中江藤樹が講義をしていたら、天井に潜んでいた泥棒が下りてきて教えを乞うた。泥棒が弟子になった。無意識のうちにまわりを感化する。

・お酒が好きな人はどなた？

池田さんの手が早かった。池田さんが第四段階に入ると、酔っ払って騒がしいお店に入っていく。例えば騒いで喧嘩しているところに行っても、何となくおさまって静かになる。池田さんを見て私もああいう先生になりたいという気持ちになる。無意識のうちに周りの人を感化せしめる十牛之図の最後の悟りのレベルという解説は、後半もう少し具体化して話したいと思います。第五段階まであります。

畑中さんが見えたから、もう一度繰り返します。今われわれが学んでいるものは第一段階です。第一段階は知識を得ること。体験も含まれます。判断基準を身につけるのは第二段階。第三段階は使命を悟る段階です。第四段階は感化。こう書くと簡単な言葉です。

## 紹介書籍

『成功の実現』中村天風述 日本経営合理化協会

## テーマ

### <心の掃除>

評議員の神藤議長さんが家庭菜園のお師匠さんで色々と教えてくれます。私はここ 1 ヶ月半ぐらい家の草むしりをしています。1 週間草むしりをしていなかったら、雨も降り太陽も照りつけると庭の雑草がどんどん伸びます。雑草の伸び方は凄まじいものがあって、一生懸命に毎日抜いていないと目茶苦茶になります。何故このようなことを言うかといえば、心も同じで毎日毎日汚れ放題に汚れる。もしも心の中が見えたら、心の中も雑草がすごくはびこって体中を覆いつくしているんじゃないのとか。寝る時、一生懸命に雑草を取ってきれいな心になっているねと思って寝る。朝起きた時に、真っ赤な種が生えるといいます。寝る間に雑草を取って、こんな綺麗な花を咲かせたいね、種をまいて寝る。翌朝には良い花が、大輪の花が綺麗に咲いている状況でなければならぬ。それが本来人間のあるべき姿だと天風先生は言っているのでしょう。

天風先生は雑草が心にはびこるという言い方はしていませんが、でも寝る時が肝心だと随所に出てきます。心の中の塵あくたを掃除して、きれいにして良い種を蒔いて寝なさい。良い種を埋めなさい。今、知識の話を色々しています。皆様方がご存知の知識を繋げていきます。

今回のレジュメの中で「心の掃除」と書きました。他のところで繋がるのは、ごみが塞ぐ。部屋の中を歩いていて、ごみがあるとヒョイと拾う。少なくとも拾ったごみの分だけは綺麗になる。心の中も同じで、起きている間は、嫌な話や見たくもない聞きたくもないものはかなりある。生きてると俗悪な部分が晒される。夜になるとへとへとになり、くたびれきって寝ると翌朝まで持ち越します。

安岡正篤先生は世の中のくだらない雑務に追われて家に帰ると、すぐ書斎に飛び込んで本を開いて偉人と会話をかわす。頭の中をきれいにして、頭の中にシャワーを浴びたらすっきりして眠れるのだと書き残しています。

心の中のごみ掃除は人によってやりかたは色々あります。心の中のごみ掃除、雑草の抜き方は、人によってそれぞれですが、天風先生流に言えば、あとう限り。嫌なこと面白くないことは引きずってはいけない。全てきれいさっぱり忘れなさい。空っぽにしなさい。

かなり昔の話ですが、営業を自分でしていた頃、1 日 100 件飛び込みで回ろうと思って、大きい会社小さい会社個人など関係なく入っていくと、相手がとても温かく迎えてくれる

ところと、水をぶっ掛けようとするところとありましたが、そんなことでいちいち腹を立てていたら自分が持たないと気がついて、紙にこの人は態度が悪い。あの人はお茶を出してくれた等々、勝手に書いていました。毎日営業 100 件していたから、1 件ごとにクリアしないと引きずってしまいます。どんなにお隣さんが良い人でも、気分悪いものを引きずったまま行くと人相悪く笑顔は出ない。1 回、自分の気持ちをさらっとクリアにする方が良い。

落語の噺です。死神に連れられて地下深く行くと（人の寿命に例えた）蠟燭がいっぱいある。勢いよく燃えている蠟燭もあるし消えそうな蠟燭もある。それを思い出して、私は蠟燭の火をポキンと折る能力があると勝手に決めた。こいつは蠟燭ポキンだとか、そんなことをしていくと、長生きしても良いという人は 1 割位います。でも 8 割位はポキンですけどね。やり方は、それぞれみな違うということです。自分なりのやり方を考えればよいでしょう。夜寝る時に、一日そんなことに反応しているのではなくて、さらっと流す方法を自分なりに見つけなさいということです。

寝る時に今日一日何があったかを思い出して良かったなと思うことは残して、困ったなと思うことはフッと飛ばしてしまう。とにかく寝る瞬間は、まっさらきれいにして雑草は引っこ抜く。恒例の質問の「明日以降、過去形にイメージ」はそこから始まります。良い種をまいたら綺麗な花が咲くでしょう。

明日は人に会って、美味しいものを食べたい。食べたなら美味しかった満腹したと思う。一緒にいた人も良かったなと思う。良かった良かったと思って、満腹感いっぱい溢れて眠れば、明日は実行できる。寝る間にやりたいなどできて良かったなと過去形でイメージして眠れたらば最高の人生が送れる。

蛙の遺伝子の話ですが、蛙の脚の部分を取り取ってしまっって、違う脚が生える遺伝子をいれて、違う蛙の脚が生えるかどうか実験した。遺伝子はきっちり細かく出来ているのかといえばそうではない。ちゃんと蛙の脚が出てきたから、あの移植した遺伝子はどこにいったのか。大まかなところで大まかに遺伝子は動いている。大まかなところで動いているから、きっちりやったもの、きっちりしたものは大まかなところで排除されてしまう。キリンはキリンでしか生まれてこない。象は象でしか生まれない。人間も人間としか生まれない。人間の場合はだいぶ教育が必要ですが。そういうことを自覚して種をまく必要がある。事業承継と似たようなものです。

蒔いた種はどんどん花が咲く。それは潜在意識の活用となります。面白いのは、天風先生は自宅にいても旅行に行っても机の上に鏡を置いて、自分の顔に向かって自己暗示をかけていた。自己暗示をかけるというのは、すごく大きいことです。

後半は天風先生のことをベースで話したいと思いますので、いくつかエピソードを織り交ぜながら話していきます。

谷口代表幹事一氣になっていることがあります。明日のことをイメージで、私なりに、こうかと思っているのは、明日を過去形でというのは、仏教でその日を大事にいきなさいとあります。全部整理をして、人間は寝て起きてくるのですが、けっきょく死ぬという意識もあって、どこで死んでも、起きてこない状態で死んでも良いと、きちんとその日その日を生きて整理をしていけば起きてこなくても、きちんとした最期は迎えられる。起きてきたら起きてきたで新しいスタートはできるだろうということで、なぜ過去にするかというのと、明日だと思うと、また先があると考えないで、その日を精一杯生きていけば明日明後日のことでも全部終わったことぐらいにエネルギーを全部つかって、その日を生きていけば良いのではと思って、私はそういうことかなと思って私は意識したのですが、それとは違いますか？

塾長一違います。

谷口代表幹事一私はそう思って考えたら結構すっきりしたのです。

それはすっきりするでしょう。いつ死んでも悔いはないと一日一日充実して生きていけば、それはそれで立派なものでしょう。良いと思います。あとはそれにちょっとプラスすれば良いと思います。今日一日これで死んでも悔いはないというところまで、きれいにして満足したら死んでしまっても良いですが、来世の話で賀屋興宜さんが死について考えている時に木内信胤先生と同じことを言ったと教わりました。

私が信胤先生に質問をしたのは「先生は死ぬ心構えはお持ちですか」と聞きました。そしたら「余計なお世話だ」と言っていおられました。また、「死ぬことはちっとも怖くはない。気が違うことが恐ろしい」とも言われた。でも、そのあとに「来世があると思ったほうが、楽しかないかい」ときました。「真っ暗な世界にこれから入って行って、自分がいなくなるよりはあると思ったほうが楽しかないかい」と言われたら、そらそのほうが楽しいですね。木内信胤先生に言われてから、来世はあると思ったほうが楽しいから来世はあると思うに切り替えました。

谷口代表幹事一何故そう思ったかと言いますと、唯識の話でもそうなのですが、人間は存在するか、生きているか死ぬかは別の話で、今やっていることは意識をためて良い君政を行ったものしか次にでてこないということですから、それは今やっていることであって、先でもそこにはないものは出てこない。それが種まきだとか、そこにおさめているものは、どういう形で次に出てくるかだけだから、そういう意味を含めてそうなのかなと、自分の意識をもてなのですが。

塾長一自分の意識ね。自分の意識というものは、ずばり言うとなんか。

谷口代表幹事—自分の意識というのは、私が今いったのはそういう理解をしていた。

塾長—何を理解したんだろう？

谷口代表幹事—私が理解したつもりなのですがけれど…

塾長—私とは何だろう？

谷口代表幹事—それも含めて。

塾長—いやいや含めてではなく、それもではなく大事なものは、私とは何だろう？今、やっていることは第一、第二…第五段階。第一段階の知識についてやっています。判断基準に差し掛かるような話を今しているところです。ですから私って何だろう？

谷口代表幹事—わかりません。

塾長—わからないという答えも立派な答えですけれども…石崎さん、ご主人は人の体から気体とかオーラが見えるとか言っていないませんでしたか？

石崎評議員—言っていないんですけど、ただ自分の周りには見える人がいると言っていました。

塾長—本人も見えるという説明はしなかった？オーラという言い方ではなかったけれども。見えないけれども見える人はどう見えると聞いていましたか？

石崎評議員—巷にいうオーラを体の内部に光があって、その人その人によって違うし、心の状態によっても違うそうです。

塾長—その光は何色だろう？

石崎評議員—人によって違うそうです。…真っ黒い人もいるかもしれません。

谷口代表幹事—チャクラ。よく言われるのは、チャクラのあらわれかたが人ごとによって違うし、どの部分の道で色はかわってくる。

塾長—ここら辺の話は眉つば的な感じな話に聞こえると思うので、意識して問答しています。問答しやすいからね。私のまわりにオーラが見えると友人の石崎さんは言った。谷口さんがチャクラと言いだしたから、そっちの方面の知識はあるわけだ。だから谷口さんが思っている私の正体とか言えないかな。

谷口代表幹事—それがわからないので勉強していて、私がやっているのは自分探し。

塾長—自分探しの自分は何なんだろうね。

谷口代表幹事—わからないから、ずっと勉強していく中でわかれば良いかなと思います。

これは頭の中に入っても入らなくても良いのですが、天風先生曰く、人間の正体は気体である。人間の体のまわりには目に見えない気体を取り巻いている。オーラといっても良い。その色は七色ある。赤・桃色・黄色・だいたい・紫・青・藍。人によってその出方が色々と違う。昔、友人の石崎さんが私に言ったことは「ちょびっと見えるんだよな。七色は見えないけれど、悪い奴は変なものが出ている」と言っていた。年から年中見えていたのではなくて、見える時もあると言っていた。

人間の正体は気体であると天風先生は断言しています。そうすると目に見えないけれども気体がまわりをしっかりと取り巻いて、その中に自分自身の命の正体である見えざる靈魂がある。見えざる靈魂が命の正体だと。肉体は見えざる命の靈魂が、こういうことをしたい、ああいうことをしたいと思ったら、肉体を通じて動く。見えざる靈魂・命の正体、それがこういうことをしたいと道具として使うものが肉体であるという言い方をされています。

心と体の相関関係で、心というものは雑草が生えるから、毎日毎日きれいに一生懸命お掃除をして、心をきれいに保っていく。これはどうすれば出来るかといえば、積極的にものを考えることを繰り返す。何でも積極的にです。体のほうは積極的に訓練せよ、習慣にせよということです。

体は訓練を毎日少しずつで良いからすること。習慣化させること。肉体は鍛えれば、鍛えるほど成長・発達します。心も同じです。最近脳みそも同じだと聞きます。心も体も積極的に訓練していけばいくほど、一層向上します。従いまして、この段階でいけば今は知識です。積極的に動く、積極的体験。考えること思うこととして体験をすること、物量的にもものすごい量に広がってきた時には第一段階。

判断基準を自分で確立していったら、「このテレビのニュースは間違いであろう。調べて御覧なさい」と言えることでしょうか。新聞もこれは嘘である、これは事実であろうと言える。人様から「これはどうしたら良いのでしょうか」と聞かれた時に、さっと答えられる。私の人生どう生きていったら良いのだろうかとか聞かれたら、相手の目の中をみるに、こう

いう落とし穴に嵌まる危険性があるからお止めなさい。まともな人生を送りたければ、こうすれば良いでしょうか、自分自身の判断基準が確立できていれば、その人の人生に対して的確なアドバイスが出来る。この状況であれば第二段階のレベルです。

今われわれがしていることは第一段階だと思っています。第二段階は判断基準。第三段階になると哲学の根本である、なぜ生きるのか。自分の生きている意味は何だろうという自分自身に対する？の答えが明確に出てくる。自分の一生はこれをするためにあったのだという使命感を明確に意識する段階が第三段階だと思っています。

70・80・90歳になって一生を考える時は必ずあります。そしたら、自分の一生はこれをするために生を受けたのだなと使命感を明確に感じてきた段階のレベルは、ほんの一握りだと思います。それから感化するというのは次回お話をしたいと思います。感化力をもったところが第四段階だと思う。これはもう全部の中で最高のレベルになりますから、そんな人間がいるのかというレベルです。こっちの遊になる話は想像しかない。

今、我々の学びは10年過ぎました。今、ここにいると自覚していただければ良い。第一段階の今どこらへんかなというものは御自分で考えれば良いでしょう。そして判断基準を確立したら、その次は「遊」を目指すんだと思っていたら良い。その先は世のため人のために判断基準を確立していく必要がある。だんだん天風先生の話がこれからは増えてくると思います。

時間通りでございます。有難うございました。